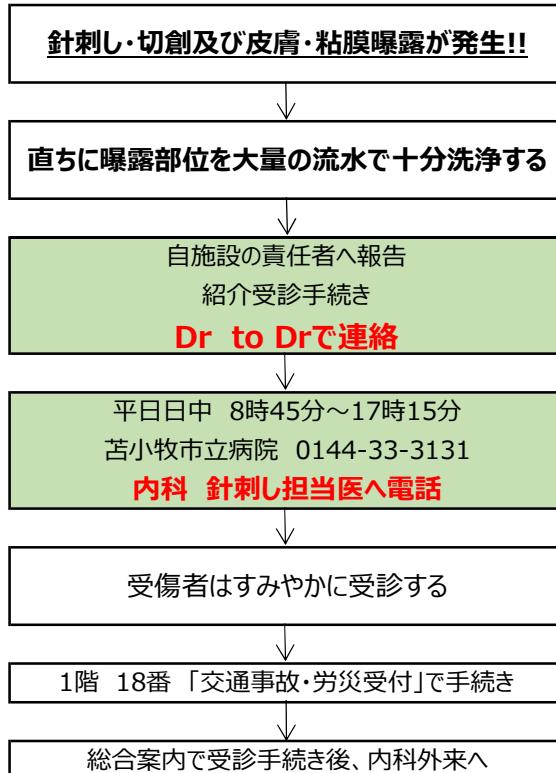


## ②針刺し損傷時の受診 フローチャート

## 平日対応用

抗HIV薬の内服は可及的速やかに（可能であれば2時間以内）

一般医療機関・受傷者の対応

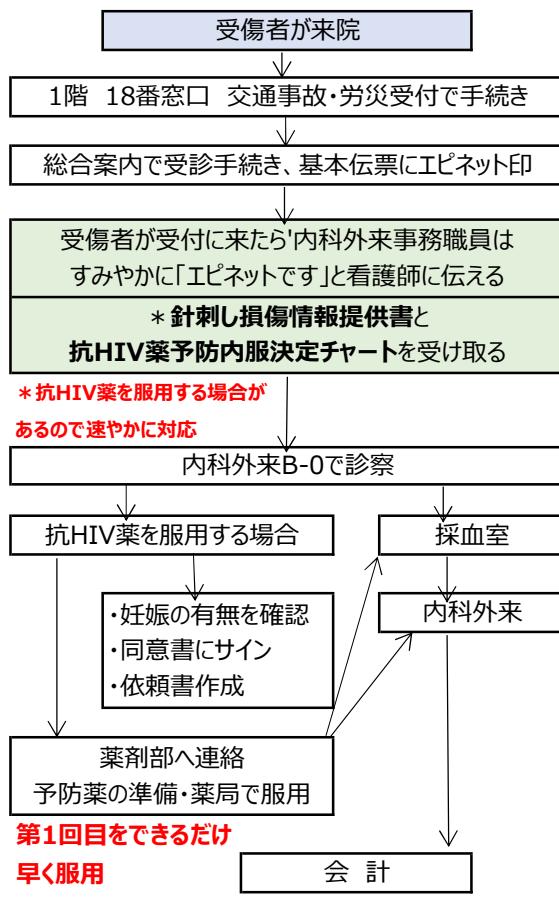


感染性体液とは
血液、血性体液、精液、膣分泌液、脳脊髄液 関節液、胸水・腹水、心嚢液、羊水
以下のものは、外観が非血性であれば 感染性なしとする
便、尿、鼻汁、痰、唾液、汗、涙
患者サポートセンター（17時まで） FAX 0144-33-4678
<b>必要書類 1通FAX</b>
・針刺し損傷情報提供書 FAX後、ご持参ください
*その他下記書類⑤⑥
受診時の持ち物
①苫小牧市立病院の診察券 ②マイナ保険証または資格確認書 ③お薬手帳（あれば持ってくる） ④針刺し損傷情報提供書 ⑤抗HIV薬予防内服決定チャート ・記載しておく ⑥抗HIV薬予防服用同意書 ・服用する場合に記載する

\*内科外来受付に針刺し損傷情報提供書と抗HIV薬予防内服決定チャートを提出する

苫小牧市立病院

### 連絡 医師 → 内科外来 → 総合案内 → 18番労災窓口



診察医師
1.針刺し損傷情報提供書を確認
2.受傷者の血液感染症の有無を調べる
3.曝露源の血液感染症の有無を確認する
*自施設で検査している場合は、後日データを確認
*曝露源不明として扱うかを判断する
4.抗HIV薬の緊急内服の必要性を判断する
・抗HIV予防内服決定チャート確認
・女性は妊娠の有無を確認
・最高3日分まで
・抗HIV薬予防服用同意書・依頼書記載
・抗HIV薬予防服用説明書で説明し、渡す
・処方：薬剤部に連絡
<b>*服用する場合は第1回目ができるだけ早く服用</b>
5.HBs抗体がない場合は、ワクチンやHBIGの検討
6.次回受診、抗HIV予防薬を用いる場合は 内服期間についても説明
<b>*基本的な服用期間は4週間(28日間)</b>
*採血オーダー
<オーダー入力方法>
1.検査→針刺しセット(職員・院外)の選択 (血清保存1年間)
2.HIV予防薬内服者はHIV内服セットオーダーを追加 (副作用の評価のため、前・2週間前後採血あり)
*診察にかかる費用は、自費扱いとし、当院の請求に基づき、事故が発生した医療機関が支払う

HIV予防薬を服用したら感染制御室へ連絡（予防薬補充のため保健所に連絡する）